

私はこれで失敗しました。 ～先輩トレーダーの失敗に学ぶ～

先達の貴重な経験から学ぶ

こんにちは、日本株短期売買研究会です。
当会では「成功するスイングトレードCD-ROM」で学ばれた方から、「自分が過去に経験したトレードの失敗実話」が寄せられています。これはこれからマーケットに参加する後輩トレーダーが無用の失敗を経験して、大きな痛手を被ることを避けるためにご協力いただいたものです。

先輩トレーダーの失敗談は自分自身のお金や、時間や労力を費やすことなく経験できる「貴重な情報」です。もし自分が同じ失敗をしたら立ち直れないかもしれない辛い経験を他の方のお話しから学べるのです。

当会に寄せられている失敗談には、本当に驚くほどの金額の損失を負いながらも、株式投資での資産形成に向けて再挑戦をしている方が沢山いらっしゃいます。しかも皆さんの想像以上に大勢いらっしゃいます。

どうか先達の貴重な経験から学び、同じような過ちを繰り返さないよう心掛けましょう。
(アンケートにご協力いただいた皆様、ほんとうにありがとうございました。感謝いたします。)

*本レポートに掲載した失敗談は原則として皆さまからお送りいただいた原文どおりに掲載していますが、一部の固有名詞、金額等は文脈を損なわない範囲で訂正しております。また、文章、記号、段落番号は原文をそのまま掲載しております。お名前は寄稿いただいたペンネームまたはイニシャルを掲載しています。

先輩トレーダーの失敗実話

鳥取県のエムさんの失敗実話

株式投資を始めて3年目になりますがこれまでの投資を振り返ってみると、準備期間もとらないままにほとんど無知な状態で始めてしまった為、いつもかなりいい加減なトレードばかりやっていました。

ファンダメンタルズやテクニカル知識に関してもそうですが、特に計画性のなさが目立っていたと思います。

例えば、買う値段は決めていても売る値段は決めていないなんてことは普通でした。だから、持ち株が上昇し始めてもいつ売れば良いのか分からない。業績も良さそうだし放っておけばどんどん上昇していきだろなんて考えているうちに下落し始める。

どこまで下がるのか分からず不安になって慌てて売る…。

結局、何ヶ月も持っていた割にはほとんど利益が出ていない。

こんなことの繰り返しでした。

また、投資手法が確立されていない為に投資スタイルもそのときの気分どころどころ変わっていました。

リスクを考えてボロ株や業績の悪い企業には手を出さないと決めておきながら、仕手株で儲けた人の話を聞いて自分も大きく儲けようと仕手株に手を出したり、あるいは、小さくても確実に利益を積み重ねていこうと決めておきながら、いつのまにか株価が何倍にもなることを夢見ていたりなど。

さらに、自分で理論的に売買のタイミングを判断することができなかつたので、自分なりにターゲットポイントを決めていても、いざとなると外部の意見に左右されてばかりいました。

株式関係の掲示板に書き込まれたどこの誰だか分からない人間の情報を鵜呑みにしたり、雑誌や証券会社のレポートに書かれている売買目標を信じてターゲットポイントを修正したりなど、いま思えばやってはいけないことばかりやっていました。

こうして自分の投資を振り返ってみて分かったことは、理論的かつ計画的な投資をしなければ相場で勝ち続けることはできないということです。

先輩トレーダーの失敗実話

栃木県のkabukichiさんの失敗実話

私の失敗談です。

1. 某メールマガジンで紹介された銘柄を衝動的に買いましたが、一度も値を上げることなく下げていきました。そのメールマガジンで紹介された銘柄は、値上がりするものが多かったので、そのうち上がるだろうと思い保持していました。結局かなり下がったところで損切りしました。
2. ある銘柄を買い順調に値上がりしましたが、もっと上がるだろうと思い保持していました。その後、だんだん値下がりして結局買値以下になり損切りになりました。
3. 上記2のことがあり、少しでも利益がでたら売るようにしている為、7割くらいの勝率があってもトータルでは損がでるといって、「損大利小」になっています。
4. いつかは上がるだろうと思い損切りができなく、H12に買った株が塩漬けになっています。最近の上昇で値を少し戻している為、ずるずると損切り出来ずに保持しています。

名古屋市のほのぼのさんの失敗実話

移動平均線、RSI、ボリンジャーバンドを見ながら、売買を行っております。自分なりのルールに従い、出来るだけ機械的に売買するよう心がけているつもりなのですが、どうしても、「損切り」がうまく出来ません。投資した銘柄が思ったような値動きを見せないまま値が下がり始め、自分で決めた損切りの基準を満たしてきても、「自分の判断は間違っていないはずだ」「目論見どおり反発するのでは」等の誘惑に負けて、冷静な判断が出来なくなってしまう事が多々あります。失敗する度に「今度こそは」と反省するのですが・・・。

結果、下がり続ける株価を眺めながらさんざん保持した挙句にあきらめて売却する羽目になり、他の銘柄で利食いした分を帳消しにしてしまうという、なんとも情けない売買を幾度も行ってしまっている状況です。

先輩トレーダーの失敗実話

川崎市のリベンジさんの失敗実話

去年10月、上昇トレンドから下降トレンドに転換した際、その見極めに失敗した時の話です。去年10月、UFJ(8307)も長い上昇トレンドにありました。10月14日、最高値576000円をつけた翌日に564000円で買付ました。ところがその後数日54万円代から56万円代の間でとどまり、3営業日後の10月20日から23日まで4日連続下げました。その後反転上昇し、やれやれこれで買値まで戻るかと思ったのもつかの間、10月29日高値540000円をつけた後、下降トレンドへと転換しました。

長い上昇トレンドぼけで、またすぐに上がるだろうから、もうちょっと様子を見よう、もうちょっと様子を見ようと踏ん切りがつかない間に株価はどんどん下がってしまい、40万円を切ったところでたまらず売却しました。この失敗から、株式の投資法を勉強しようと思いました。現在、「成功するスイングトレード 基本編&実戦編」を勉強中なので分かる範囲でそのときの市場を振り返って見ると、10月15日にストキャスティック(STC)の%Kと%Dが75%以上でデッドクロスしています。またディレクショナルシステムのADXは下降しています。MACDは10月20日にデッドクロスし、10日と20日移動平均線が10月28日にデッドクロスしました。下降トレンドに変わったことが分かります。10月29日直近の高値を更新できず、この後三尊を示現しています。以上のことを見極めていれば買付はしなかったでしょうし、買付けたにしても早めにロスカットできたでしょう。

千葉県のおとうさんの失敗実話

バブルの頃含み益が1000万近くになっても利食いせずまだ上がると思っているうちにバブルがはじけ結局もとの木阿弥になってしまった経験があります。あの頃はどんな株を買っても右肩上がりでした。M著「株価がピタリ予測できる」で計算した予測株価を信じて売買していました。反省「欲張り過ぎない」「いつまでも上がり続ける株は無い」

バブルがはじけてからはテクニカル分析のうち主としてRCIを使って逆張りで行ってましたがあまり成果は出ませんでした。なぜなら、トレンドが下がり続けたからです。RCIは上昇、下降とも行き過ぎには力を発揮できないようです。反省「上昇トレンドの株を買う。」貴会の「50日移動平均が」がいいようです。

先輩トレーダーの失敗実話

栃木県のK・Uさんの失敗実話

いつも失敗していた原因の一つが、「成功するスイングトレード実践編」の135ページから141ページかけて出ていました。

負けの回数が先行してくると、利が乗っているときは、トレイリングストップの設定をあらかじめ明確にしていなかったため、すぐ利食い、逆向かいになると、最初に決めたロスカットポイントもあやふやにしまい、損が増えたところで損切りをしてしまう。

これでは勝ちの回数が増えても、収支はほとんどマイナスになってしまいます。大数の法則、トレードリスク、トレイリングストップをよく頭に入れ、実トレードで生き残ります。

奈良県のモーさんの失敗実話

私が株をはじめたのは、社内持ち株会によります。会社のパンフレットでは、保持し続けていると将来必ずあがるという右肩上がりのグラフであり、雑誌にもそんな記事がありそれを信じて社内株を購入。電気会社であったので、主に同業他社の株を増やし退職後の備えにしようとした。一次は値上がりしていたが将来必ずあがるという信念でそのまま保持した。

その後ITバブルの崩壊で電気株は大幅下落し、今株が回復し電気株以外を売っても、元のマイナス額が大きいので未だに負債が取れない。“塵も積もれば山となる”の教訓どおり、利益の出たときは少しづつでも儲けていくことが大切と考え直した。

京都府のリベンジ亀さんの失敗実話

10年ぐらい前から、株関係の本を読み友人からの銘柄情報をたよりに現物買いのみ取り引きしておりましたが、もっと大きなリターンをとろうとして、7年ぐらい前に某投資顧問に入会あとはおきまりの大きな損失の痛手だけ残りました。このまま人生も終わってしまうのかと思っていた矢先に、短期売買研究会にご縁ができ、最後の希望を持って購入しましたが、この内容に書いてあることをもっと早く知ることができれば、私のように無知で地図ももたずに山に登るような無謀な株取引で人生を棒に振るようなこともなかったのにとっております。

先輩トレーダーの失敗実話

三重県のfusafusaさんの失敗実話

a. 下がってもいつかは上がると教わり、損切りをしなかったこと。結果現在も手放すに手放せない状況になっている。

b. 最近のみずほFGで株価が下がり続けていた時期に勢いの良い陽線が現れた。

「勢い良く上がっている！陽線3本も出れば明日も上がるに違いない」と判断し購入。その日のうちに値を下げ、損切りしたが、結局損。テクニカルチャートの読み方等知らず、雑誌に掲載されていたという理由だけで、注目していた。

世田谷区のサティさんの失敗実話

「トレード失敗実話」について提出します。ITバブルの頃に購入した株価が、今となっては、その当時の3分の1～4分の1程度の価格になってしまっています。スタンスは、長期的に上昇すること、最悪でも倒産しなければいい、と気長に構えていました。

投資した金額は私にとっては、全財産の半分程度をつぎ込んでいましたので、実際にこれほど下落しまうと、“もとの価格に戻ったら儲けなんかいらぬから直ぐに売ろう、でもいつ売れるのだろう”、と日々日本経済や株式市場全体が活性化することを願っている状態です。

このような投資をしたために、いわゆる塩漬け状態で、資金滞留（最悪は紙切れになる可能性もある）状態で、市場への新たな参戦機会を逃している状況になっています。

また、絶対負けたくないという勝率100%にこだわるあまり、“買った以上は、儲けが出る株価になるまで売らない”という、執着心が仇になったようです。

今回「成功するスイングトレード」を読んで、私のトレードの反省点をたくさん指摘されたような気がします。その中でも特に私が感じたのは、『損切りの重要性』、『シナリオをたててから売買することの重要性』、『長期投資より短期投資の方が有利』です。『損切りの重要性』では、（次ページに続く）

先輩トレーダーの失敗実話

「良いトレードの要素とは、一に損切り、二に損切り、三に損切りだ」

「プロとそうでないトレーダーとを分けるテクニックは、“少額での損切り”です。」

「損切りとは、儲けるためのコストです。」

という言葉が胸に突き刺さりました。

『シナリオをたててから売買することの重要性』では、TPやEPやLPも明確に定めず、シナリオを描かずに、ただ何となく今までの数冊の本で読んだ知識と宝くじを買うような運任せの非常に曖昧な感覚でトレードをしてきたことにも原因があると自覚しました。

『長期投資より短期投資の方が有利』と感じたのは、長期投資の場合は、株を長期間持ち続けることから、価格変動リスク、クレジットリスク、イベントリスクを長期間抱え続けることになり、その分危険度が増すことになるのではないかと。

株を長期間持ち続けることは、売買の機会（利益獲得の機会）を逃すことになるとともに、売買の回数が減るということは、「大数の法則」からみても、確率的に短期のほうが有利になるのではないかと。（長期投資で、儲けて買ったまま参戦をやめて、今後、将来に亘って投資を行わないという場合は別ですが。）というように感じました。

おかげさまで、自分の投資スタイルの大変革といいますか、今までいかにあやふやな投資をしていたかがよくわかりました。これまでの悪習と考えを切り替えて、このCDで学ばせていただいたセオリーとメソッドを自分に染みこませて習慣化していくように、転換していきたいと思います。

先輩トレーダーの失敗実話

埼玉県の富澤さんの失敗実話

この業界では、よくある話ですが、私も酷い失敗を経験してきました。要約すれば、適当な気持ちでトレードすることと、トレンドに逆らった売買と、他人の意見を聞くことは、良い結果に繋がらないという、月並みなことです。下降トレンドの株価を買い、含み損が小さいうちに損切りせず、最後は怖くなって、底の近くで投げて、大損を確定してしまう。

私が株式投資を始めたきっかけは、父親に勧められて、でした。1997年、山一証券等が倒産し、金融証券界が動揺した年です。初めて買い付ける銘柄は、四季報と、隔月で刊行されている「近々、急騰する可能性の高い銘柄の情報」が載っている冊子（表紙はヘルメットを被った変な動物がロケットに跨っているイラストだった）を見て、幾つか選び、父親に相談して決めました。

最終的には、海運株と、食品飼料メーカーの株を選び、自分の心は海運株に傾いていたのですが、「今は船の時代じゃない」という父親の強い反対で、食品飼料メーカーを選んでしまったのが、蟻地獄の始まりです。

現在、海運ポストの株価はどれも、1997年と比較して、大幅に値上がっていますが、その飼料メーカーの株価は低迷が続いています……。自分が買い付けた後、株価は一時的には値上がったのですが、後はビギナーズラックも無く、ズルズルと下がっていきます。買ったところも、今、思い返せば、下降トレンドの途中で、とんでもないところです。他にも、三銘柄を千株ずつ買い付けましたが、同じような展開でした。

損切りができない。損切りの重要性が全く分からない、そのことを教えてくれる人が身近にいないので、持ち株の含み損は日を追う毎に膨らんでいきます。

銀行に預けて、つけられる利子よりも、儲かればいぐらいの気持ちで始めたのですが、兎に角、損を確定することが嫌で、自分が買い付けた株価よりも、やや上のところへ戻ることを祈って、チャートを見るばかりでした。結局、最後は山一証券の倒産ショックで、全面安になった日の翌日、怖くなってしまい、最初に買った銘柄を含めて、業績財務内容の悪い会社の株2銘柄は、底値で投げてしまいました。

（次ページに続く）

先輩トレーダーの失敗実話

その後は、例え肉親でも、もう、人の意見を参考にして、銘柄を選ぶことは止めたのですが、5年ぐらいは、下降トレンドの株価を買い下がる悪い癖から、抜けられませんでした。

キャピタルゲイン目的で、株式投資を行っているならば、含み損が発生したら、ごく小さいうちに、損切りを断行しなければ、成果を上げることはできないばかりか、資産を溝に捨てる結果に終わります。

自分が株を始めるきっかけになった父親ですが、値上がり益目的で株投資を行っているにも拘らず、時価が買付株価よりも下がっても、絶対に損切りをせず、値上がり益が無くても、配当が出るから、銀行預金よりもマシという適当な気持ちで、下降相場が始まっても、放置するだけでした。

2年前に亡くなり、母親が故人の口座を清算しましたが、自分が知っている限り、大雑把に計算したところ、買付に900万円以上掛かった株式を亡くなる直前に売却したようですが、500万円程度にしかならなかったようです。

株式投資で成功するか、失敗するかを左右する要因は、幾つかありますが、正しいトレードを学べる機会を得られるかどうか、そのひとつですが、それを学ぼうという、他力ではない自力の気持ちの持ち方が大事だと思います。

林輝太郎系の技法をやったり、チャートで暴騰株を見分けられるような優れた右脳を持っていない人、ファンダメンタルズを研究するセンスの無い人は、リトレイジメント局面で、エントリー、エグジット、ロスカット、マネジメントを機械的にやるトレード法を覚えて、断固実行する以外に、成功の道は無いと思います。

先輩トレーダーの失敗実話

愛知県のまーさんの失敗実話

今年で株を初めて3年になります。資産も当時は100万ほどから始め現在は50万以下まで落ち込んでいます。始めはある雑誌の情報で知ったミニ株から少しずつでもと思い始めました。正直右も左もわからないまま、知っている銘柄を買いました。それでも始めは運が良かったのか、プラスの状態が続いていました。これがかえって落とし穴となり、欲が出てそのまま放置。少し下がってもまた盛り返すだろうと、そのうちどんどん損失が膨らんでいき取り返しのつかない状態となっていました。

これでは大変なことになると思い損切りを決意(数十万)そこからいろんな投資方法の本を読み、××投資法、××チャート式などいくつもこなし信用取引で売りからもチャレンジといろいろ試してきました。しかし、やはり少し利益が出たかと思うと、ある時大負けし、気づけばトータルではかなりの損失につながっていました。

結局のところ今思えば長期でのトレードの仕方、中期、短期での仕方を何一つわかっていない状態で、新聞やテレビでの専門家の意見を頼りに、何度もトライしては、失敗の連続。それでもたまたま利益が出ているため、また欲がでて。。。また同じことの繰り返しという状況でした。

東京都のkat.taさんの失敗実話

私が初めて株取引をしたのは、今から約7年前のことでした。買った銘柄はソフトバンク。当時私はパソコン雑誌をよく読んでいたので、何か身近に感じて選択しました。しばらくしてすぐにネットバブルの時代が来ました。株価は2年で二十数倍になりました。「株は簡単」と本気で考えていました。

しかし、ビギナーズラックもここまで。まもなく迎えたネットバブル崩壊で、失敗街道をひた走ることになってしまいました。という訳で、当レポートでは、恥ずかしながら「トレード失敗実話」を2つほど紹介したいと思います。

ネットバブルの絶頂期、私は毎日のようにテレビを見つめていました。TV東京の株式ニュースは朝、昼、夕方ともビデオに録画、そしてモーニングサテライトとワールドビジネスサテライトは絶対に見逃さない日々を送っていました。そうこうしているうちに、お気に入りのエコノミストが何人かできてきました。私のお気に入りの彼らは口を揃えて「ファンダメンタル分析が大事」、「投資は長期に限る」、「ソニーなら安全」と言っていました。(次ページに続く)

先輩トレーダーの失敗実話

私はこれらの意見を素直に取り入れ、ソフトバンクを売って、その代金でソニーを買いました。「これで老後は安心」と大船に乗ったような気分でした。ところが結果はご存知のとおりの大失敗。持ち合い解消売りだとか、代行返上売りだとか、拳句の果てにソニーショックだとかで、ジ・エンド。エコノミストが損失補填してくれる訳はなく、信じた私が間違いだったと認識して泣く泣く売却しました。

これで今までの儲けはチャラ。私は巻き返しを誓いました。先の経験から、「投資対象は自分の判断で選択する」と決めました。いろんなところから入ってくる情報も、客観的な事実は受け入れ、個人的な意見は聞き流すことにしました（「相場に王道なし」）。

「自分で判断」できるようにするために、テクニカル分析の勉強を始めました。ローソク足の見方や各種指標について、いろんな書籍を調べました。ある程度理解も進み、さあ実践、と意気込んだのですが、勝率は1割程度でした。それにしても勝率1割というのは負け過ぎです。まったく才能がないか、何か根本的に間違えているかのどちらかだと考えました。そんなときに目にしたのが「成功するスイングトレード」の広告でした。もしかしたらこの閉塞感を打開してくれるかもと考え、購入を申し込みました。

テキストを読んでみて1つ決定的なことに気が付きました。私の「勝率1割メソッド」は、常に、エントリーが早過ぎるという過ちを犯していたのです。「そろそろゴールデンクロスだ」とか、「このまま順調に行けばブレイクアウト」とかのタイミングでエントリーしていたのです。結局私の思惑通りに株価が動いたのは1割程度だったということでした。自分勝手なシナリオに固着しすぎていて、落ち着きがなかったたなあと反省しました（「明日も相場はある」）。

実は私、もう株はやめようと考えていました。長期投資で万全の老後という思惑がはずれた上に、チャートを見ても滅多に勝てないし・・・。

しかし、「成功するスイングトレード」を読んで少し気が変わりました。「相場に王道なし」と、「明日も相場はある」を肝に銘じて、もう一度出直してみようと思います。

先輩トレーダーの失敗実話

埼玉県の実業家の失敗実話

株を始めた頃ですが、80921DUで手痛い失敗をしました。今年の8月末に30万あたりで買いました。買った後も少し上昇しましたが、すぐに下げはじめます。ファンダメンタル的には良好なのですぐに上がると思いきやなかなか売れません。そうこうしているうちに含み損が膨らみ、もうダメかって頃に陽線をつけます。ここから上げ始めるのかと思い、損を一気に取り戻そうとして買い増ししました。でも、翌日からまた下げ続けます。買い増した分、損も倍の勢いで増えます。そして、最終的には全部投売りしました。結果として、この銘柄だけで資金の30%を失うことになりました。今思うと、もうバカですね(^_^;

- ・新興市場の危険性を認識していない。
- ・値が高くなったところでの高値づかみ。
- ・トレンドが読めてない。
- ・上がるという思い込みでの取引。
- ・損を取り戻そうとして大きくでる。
- ・ロスカットの遅れ。

これらの失敗を繰り返さないように、今はがんばってます。

岡崎市のおっちゃんさんの失敗実話

古い話で申し訳ないのですが、8年くらい前に友人の知り合いから今は株や先物取引がお薦めですよと言われ、株や先物取引を始めました。今思えば全く自分のお金を良く分からない人間に運用を任せると言う無茶な事をやったものです。それでも最初は数万円の利益が出たので、そのまま任せると言う愚かな事をやってしまい、結局大損をしてしまいました。

当時は日本経済新聞を読んで自分は先行情報を持ってるんだといった誤った認識から来たと思います。新聞で情報を得る事は重要だと思いますが、それだけを鵜呑みにして取引したのは大変危険でした。みなさんは自分で学習して必ず自己責任で株取引するようにして下さい。

先輩トレーダーの失敗実話

静岡県のレンジャーさんの失敗実話

最初のトレードは、トレードのコンサルタントにアドバイスを受けるままに購入したものです。アドバイスの要領は、値上がり予想銘柄をメールで指示され、その中から、適当なものを購入し、利益が上がったならば、利益の約30%をコンサルタント料として支払うというものです。いくつか、示されたものの中に、以前から馴染みのあった会社があり、将来性も有りそうだとということで、十分に分析することなく購入しました。しかし、購入価格が高値圏であったこと、損切りに対する知識が不十分であったことなどから、値を下げるままに見送り、現在塩漬け状態にあります。

浦安市のZUさんの失敗実話

信用取引を始めたころ、取引可能な金額が増えたので、単価が大きく、値動きも大きい銘柄)を売買するようになった。最初のうちは、それなりに儲かっていたが、予想が外れたときに、すぐに損切りすることができず、ずるずると損失がふくらんだ。さらに損を取り戻そうと同じ銘柄を買い増して、結局、より大きな損失を出してしまった。

岐阜県のやる蔵さんの失敗実話

私の失敗談です。人からもらったBIG TOMORROWという雑誌がきっかけで株に興味を持ち、中国株などを始めました。日本の株も分からないのにいきなり外国株に手を出して、中国株の本を頼りにして、大きく損をしてしまいました。なぜなら、その本の推奨銘柄を購入しただけで、株の仕組みなどうわべしか知らなかったのです。その後日本の株で、株主優待目的で購入して、その頃はまだ優待が出せるほど、業績の良い会社だったからか殆ど損はしませんでした。その後メールで来る推奨銘柄だけを情報として出してくるものを頼って購入し、さらに損を重ね、無い貯金がさらに減ってしまいました。推奨株はJASDAQがほとんどでした。期待をかけて上げるのを待っていても、あくまでも自己責任ですよね。でもこの時は自分で銘柄を選ぶ力が全くなかったから、他力本願でやるしか術がなかったのです。私は、日頃自分で見極める力をつけないと勝てないなあ。。。とセミナーに行くことも考えましたが遠いところが多いし、金額も高額でした。(次ページに続く)

先輩トレーダーの失敗実話

私はずっと待っていたんです、一から勉強できるところを。今回は「成功するスイングトレード」に出会えて良かったです。株専門用語も適当な読み方して間違っていたし、どういうときに上がったり下がったりする理由が理解できるように書いてある本は、今まで見たことがなかったのです。

トレードで失敗を重ねすぎてちょっと怖いですが、実践編が理解できる頃には銘柄を選べる力がついてくると確信しています。基本編だけでも、今までなぜ失敗していたのかがよく分かりました。何も知らずにトレードして火傷してました。目からウロコとは、この事です。この申し込みをしたときに、思いきって塩漬けになっていた株を全部損切しました。これから少しずつトレードに再び挑戦します。将来のためにも、私にはこれしかありません。何度も読み返して、実践編を理解できるように頑張ります。

石川県の調理人の初心者投資家さんの失敗実話

以下は私自身が以前、楽しみながら、ギャンブルよりは確率が有る遊び的、一例を報告いたします。当然失敗例です。***キャピタル(投資顧問会社)のホームページで、リアルタイムで出てくる情報を、あくまでだましと見ながらたまにヒットしないものを待ちます。特に後場後半でしつこく(美味しそうに出てくる)銘柄をターゲットにして、かまえます。引け10分前より売り優勢ならばとにかく乗ります。翌営業日、寄り付きに売ります。

陽線で終わる事を利用したのですが、最初の何ヶ月間はトータルややプラスで楽しんできたのですがある時連続でやられました。要するに方針と言うか確信も何も無い、からっぽの投資でしたので、自慢ではないですが負けだしたら大胆になり、さらに負けました。

先輩トレーダーの失敗実話

東京都のさいらさんの失敗実話

トレードでどうしても感情が入って失敗してしまうので何かいい方法が無いかと思い、日々研究していました。そして思いついたのが、寄り付きと大引けだけでトレードすれば、感情が入らずにいいのではないかとということでした。

どうすれば、利益が多いかと考えて、日々日足を追っていました。ランキング情報を見ていて、値上がり率ランキングに出てくるものをみていると、なんとなくですが、翌日の寄り付きに大きく、ギャップアップしているのが多かったです。

そこで、半年ほど統計を当たってみました。その中でも、値幅制限いっぱい値上がりした銘柄を取り出すとほぼ9割の確率で翌寄り付きでギャップアップしていました。10%を越えているのもありました。

そこで、値幅制限にかかりそうな銘柄をウォッチして購入し、翌朝ドキドキしながら寄り付きで成り行き売りを何度かしました。下がるのもありましたが、概ねギャップアップしました。

そうこうしているうち、2004年11月西武(9002)の株が急落している途中で、突然、値幅制限いっぱい値上がり。ちょっと迷いましたが、「リバウンドだから」大きく下げることはないだろうと買いました。

翌日、目を疑いました。上場廃止の騒ぎで、一時売買停止。その後の気配値は、値幅制限いっぱい下げていて、売れません。翌々日も、同じ状況。パニック売りです。私もパニックに陥りました。購入から3日後にやっと値がついて売れました。ほぼ50%の損失だったと思います。

更に、その翌日、今度は、「本当のリバウンド」で、上昇、もう怖くて手をつけられませんでした。スリル満点のトレードです。毎日、いろいろ気が付くことがあるのですが、授業料が非常に高いです。投資金額の半分が一度に失われたのには本当に参りました。

先輩トレーダーの失敗実話

新宿区のパチキンさんの失敗実話

本屋で見つけたデイトレードの本、「これはいける！」とこの本を片手にトレードをしました。結果はすぐに投資資金がなくなり、相場からの撤退でした。本の内容としては、値動きの激しい銘柄でトレードし、短時間で最大の利益を生むというものでした。具体的には、前日の値上がり率上位にランキングしている銘柄をチェックし、寄り付きから上昇気流に乗ったところで買い、利益が乗ったらすぐに売るというもの。

この方法は一分一秒で売買の判断をしなければならず、会社員として平日朝9時から働いている私にとって、無謀であったとしか言いようがありません。買った瞬間からもう気になって気になって仕事になりませんでした。周りの目を盗んでは、ネットで株価をチェック。人の話なんて右から左に抜けてしまう有り様です。

当時私が値上がり率ランキングにでてくる銘柄のチャートを見ていたところ、下記のような値動の特徴があると感じました。

1. ランキング上位に入ってきた銘柄は、3日間くらいは陽線が続く
(しかも大陽線が続くことも多い)
2. 日中の動きは、寄り付きから急激に上昇し、9時半ごろ押しがはいいり、
また上昇する

上記2点をもとに、9時半ごろの押し目で買いを入れ、利益が出たらすぐに売るということを実行しました。

1回目はシナリオ通りにいき、5分ほどで投資金額の20%の利益を得ることができました。「これはいける！」と翌日も同様に9時半ごろ押し目がきたと思い、買ったところ、値を上げるどころか急激に値を下げていきました。値下がりするシナリオなんて全く考えていなかったことと、仕事で逐一場を見れないということもあり、ロスカットもできないまま、ずるずると。。。結局投資金額の30%以上も損失を出してしまいました。

しょせん付け焼刃であったため、一旦負けるとまともな精神状態ではいられず、ただただ元を取り返したいという一心で売買を繰り返し、最後には投資資金が底を尽きてしまいました。

先輩トレーダーの失敗実話

沖縄県のhiroさんの失敗実話

株を始めたのは今から約8年ぐらい前になります。最初は何も分からなかったため入門書等をいろいろ読んでみたり、今のようにインターネットを使って色々な情報、データが手に入るわけでもなかったため文字情報などから自分でロウソク足を毎日書いたり、それなりの努力はしていたように思います。

当時は、書店の店頭で並んでいる株の本に載っている銘柄から自分なりに四季報などを見て銘柄を決めて売買していました。今よりも株式市場も低迷しておらずその程度のやり方でもそこそこ利益は出ていました。ところがそんなやり方も続かず、他力本願で儲けようとし始めました。最初の失敗は、株関連の雑誌などに載っているデータ提供会社に入会したことです。入会するにあたってはいくつかの会社に資料請求をし、また電話で話をする中でよさそうな会社を選びました。ところが入会した会社の手口は、入会前は度々連絡があり非常に丁寧に長時間相談に乗ってくれたりしていましたが、入会すると連絡の回数も減り、短時間の電話で売買指示は出すものの一向に成果は上がり、損が増えるばかりで契約期間が終わってしまいました。入会金+損失分で200万程度になったと思います。

その後も証券会社の薦める銘柄を買い、利益は出ず損失が膨らむばかりといった状況です。そのとき買った株がまだ塩漬けのまま残っている物もあります。

東京都の好一さんの失敗実話

今まで一番大きな失敗は東京エレクトロンを*月*日に5860円で買い、*月*日に4450円で投げた時です。S野線の***株式情報で推奨銘柄として出ていたのを、プロが商売で薦める銘柄だからという理由だけで買ってしまっただけですが、勝ってから下げてしまいその後一度戻ったのですが、さあこれから上がると思って持っていたらまた下げてしまい、今度は戻らずにずるずると下げつづけ、もう駄目だろうと思って、成り行きで投げてしまいました。今なら安値を切ったのを見て翌日成り行きで切って別の銘柄を探すのですが、このころは損きりの基準も大事さも考えていなかったのも、資金は減るは塩漬けの間動かせないわ、で散々でした。よく4ヶ月も損していたものを持ちつづけていたもんだと思います。

(次ページに続く)

先輩トレーダーの失敗実話

その後業界人のいう株はあまり信用しなくなってチャートを見て決めるようになりました。テクニカルの本はいくらでも出ているのであれこれやってみましたが、当たる時は当たるが、外れる時は外れるので、だめだったら誰がどういっているのがすぐに逃げるという鉄則を、実行するようになってからは、大負けはしなくなりましたしかし1ヶ月2ヶ月というふうに見ていくとじり貧状態で市場からの退場も時間の問題かとかんじました。もっとあやふやなところのない、買うべき時と、食うべきとき、特に切るべき時のはっきり計算できる投資法を探していました。

コンビネーションセットアップを知ってからは、精神的な負担がかなり減りました。今の株がだめでも、かわりの株はいくらでもみつかります。複数のテクニカルな数字を見ていくのは時間がいくらあっても足りないので、カナル2を購入してメールで設定の分らないところを聴きながら、リトレースメントの条件表を設定して見て、その条件で抽出されたものから1銘柄ずつチャートを見て買い値、売り値、切り値を決めて注文を出しています。今の所あまりパソコンが得意でないのもあって同じような値動きでマークが出たり出なかったりするような気がするのですが、自分で何千も毎日見るわけにはいけないので対象がしぼれるのはたすかります。

カナル2でテクニカルな数字で絞ったら、ろうそくをろうそくの足型表を見ながら見て買い型になっていたら、1株益と営業益がプラスになっているものを選んでいきます。それでも外れる時はあるので、損きりに気をつけています。

茨城県のK・Tさんの失敗実話

雑誌等で紹介されている「推奨銘柄」をなんの根拠もなく、言われるがままに購入していたこと。結局その銘柄はその後、下がり続け、購入価格の約70%で損切りしてしまいました。それで自分自身のスタイルを確立しようと思い、勉強を始めました。株に関しては様々な情報があふれていますが、あくまで自分の考えで納得して自己責任で売買するという基本的な部分が一番大事だと思いました。

先輩トレーダーの失敗実話

兵庫県のkazuさんの失敗実話

遅くなって申し分けございません。参考になるかどうかわかりませんが、私の株式投資の失敗談を書きます。

私が株式投資を始めたのは、2004年3月頃でした。きっかけは、友人と株の話で盛り上がり、自分でも興味があったのと、ネットで取引できるということから、早速、証券会社に口座を開きました。最初の1ヶ月間は株式投資に関する基本的な事を学ぶのに費やしました、次に実際に売買しようとしたのですが、何処で買いを入れたらいいのか全くわからなかったので、書店で投資法なる本を買い込み本に書いてある通りに売買してみましたが、なかなか上手くいきません、良く理解してなかったせいも知れないと何回もよみましたが結局損失ばかりだしていました。そこで、専門家に教えてもらった方が良いと思い、証券会社のセミナーに行こうと思い、サイトを見てみましたが、受講料が結構するのと受講日が平日なのと、夜間もありましたが、仕事の都合で時間的にもきつかったので諦めました。そこで、また書店で××投資法なる本を買い込み、やってみましたが結果は同じでした。それ以後も同じようなことを繰り返し、自己流でもやってみましたが、少し利益がでて負ける時にはそれ以上に負けました。

神奈川県のコジャイさんの失敗実話

株は20年ほど前から小額で取引をしていましたが、バブルがはじけてからは塩漬け株をかかえたまま冬眠していました。2003年に退職したこともあって自宅でネット取引ができるような環境を整備し、本格的に株をはじめることになりました。折りしも株価が回復基調にある（それも近年にない上昇が期待できる）と発言する評論家もいて、再出発にはいい時期であると判断しました。

まずはネット取引関連の本を何冊か読み、あちこちのホームページを覗き、TV・ラジオの放送を視聴し、恐る恐る取引に参加しました。はじめは低位株1単位ずつで様子を見ていたのですが、たまたまホームページに出ていた情報で買った株が上昇し、取引回数や単位数が増えていきました。そして情報が何よりも重要だと思ってしまったのです。ある株式評論家の会社と投資顧問契約をし、その先生の推奨する株を次々と買っていきました。はじめは運良く利益を出すことができましたが、11月の暴落で損失を出してからは推奨についていけなくなりました。かなりの損失が出ているのにどうして損切の指示を出さないのかと疑問に思っていたところ、その方の損切ラインは20%とのこと。愕然としました。本によれば、多くても10%以内でロスカットしなさいと書かれています。自分としては8%でロスカットしなくてはと思っていたのですが、大当たり連発の先生が推奨するのだからそのうち上がるだろう、とズルズル持ち続けていた結果、投資資金の1/3がなくなっていました。他人を頼った自分が悪かったのだと猛烈に反省し、偶然に日本株短期売買研究会のホームページを拝見しレポートを読ませていただきました。自分はカモだ、と惨めになりました。そしてカモ脱出を願い成功するスイングトレードを購入した次第です。

先輩トレーダーの失敗実話

豊橋市のるんさんの失敗実話

トレード失敗実話です。株式投資を始めて8年ほどになります。初めて購入した銘柄は「JR東海」、ある証券会社の営業マンから公募を薦められ当選したことがきっかけです。結果として20万円ほどの利益を取ることができ「なんだ、こんな簡単に20万円も儲けられるのか」と感じたことを今でも覚えています。その後、証券会社から薦められるままに買いを続け、単一銘柄で200万円を超える利ザヤを稼いだこともありましたが、しかし、自分自身で選別眼を持っている訳ではなく、昨年一年間では150万円ほどの損失を出しました。現在でも、「今が底値ですから...」と薦められたナスダック銘柄が20%程下落し塩漬け状態です。

今考えると貴研究会のHPで言われている「90%のカモ」の一人だったようです。

群馬県のおいちゃんさん

最もひどい失敗は、下落中（有名企業）の株を”企業の名前”とここが”底”だろうという思いこみだけ（当然根拠なしです）で購入しましたが、落ちてくるナイフ状態でさらに下落し、結局、半額になるまで持ち続けたことです。当時は、その前の投資でもうけたというのと投資資金が少なかったのが幸いし、相場から退場するまでには至りませんでした。

伊丹市のmeiruさんの失敗実話

私は、今までにトレードを行い、何度かは利益を出したこともあるのですが、損失額の方が大幅に大きく、総合の結果として投資資金の約35%の損失になっています。額にすると100万円以上。非常に大きい金額です。その敗因はいくつかあります。

1、今上昇（下降）トレンドなのでこれからも上がり続ける（下がり続ける）だろうと勝手に予想してトレードを行ったこと。ローソク足についての知識は少し位ありましたが、トレードに関するイロハのイも知らない状態でトレードを行っていました。

2、ロスカットポイントの設定を行わなかったこと。時には、含み益が出ているにも関わらず、更に利益が増えるだろうと考え、利益確定のトレードを行ないませんでした。そのうちに、トレンドが転換してしまい、損失を出したこともあります。また、自分が予想した方向と逆方向に相場が動いても、一時的な動きであると自分を納得させ、損失が少ない段階でロスカットを行わなかったこともありましたが、これでは、利益が出るはずがありません。今後は、「成功するスイングトレード 基本編&実践編」の内容を、何度か読み返すことで完全に理解し、きちんとしたリスク管理の元でトレードを行っていきたいと思います。非常に勉強になりました。ありがとうございました。

最後に

以上、先輩トレーダー達の失敗実話でした。いかがでしたでしょうか。
「自分も同じような経験をしている。」「思った以上にトレードというのはシビアなんだなあ。」「気を引き締めなくっちゃ。」と思われた方も多いのではないのでしょうか。

以前、ある方トレーダーさんから連絡を頂戴いたしました。この方は投資歴が20数年あるベテラントレーダの方で、毎日ザラバを見て、2000万円以上の資金を運用されている方でした。その方はこうおっしゃいました。

「私は投資歴は長いのですが、利益を出せるようになったのはここ数年のことです。貴会のおっしゃる事は私が20数年試行錯誤して、散々な目に会いながら失敗しながら得た知識と同じです。私が投資を始めた頃は誰もこんな事を教えてくれる人は居ませんでした。だから本当に苦労してきました。投資法、ルール、ロスカット、資金管理、全てにわたって貴会の言う事は本当に価値があります。でも・・・投資初心者の方は、本当に貴会の説明されていることの重要性を「実感」するには、実際に何度か痛い目に会わないと、その「重要性」は理解できないのではないのでしょうか。」

そうですね。本当にそう思います。経験して、痛みを感じて、本当の「意味」を理解することは実体験はとても重要だと思います。百聞は一見にしかず、です。

でも私自身も含めて「成功するスイングトレード」をご購入いただいた方の大半は、資金の半分以上を無くしたり、数百万円、数千万円もの損失を実際に経験して、そこから「再度立ち上がる」ことができる程、資金的・精神的にも余裕のある個人投資家の方は、少数派なのではないのでしょうか。ですから、やはり今回のレポートでご紹介したような他の方が身をもって経験された失敗談を「貴重な情報」として受け止め、防げるミスは未然に防ぎ、同じような過ちを繰り返さないよう心掛けていただきたいと思います。

個人投資家はいつの時代にも弱者です。
苦労してマーケットを生き抜いてきた先人の経験から学びましょう。「失敗は成功の母」です。是非参考にしてください。
本レポートの情報があなた様のお役に立てたなら、幸いです。

日本株短期売買研究会

掲載した失敗談は一部の固有名詞、金額等は文脈を損なわない範囲で訂正しておりますが、原則として皆さまからお送りいただいた原文に基づいています。

掲載いたしました失敗談は「成功するスイングトレード」をモニター価格にてお申込みいただいた皆様のモニターアンケートを基に作成されております。そのため、ここに記載されている失敗談についてのご質問には日本株短期売買研究会としてはお答えできませんので、予めご了承ください。

他社(者)の投資手法に関する批評や個別指導に関するお問い合わせならびに個人情報、個人的資産情報、個別銘柄情報等に関するご質問にはお答えできません。予めご了承ください。

当会は個別銘柄に関する情報の提供、特定銘柄の推奨を目的とした会員組織ではありません。また特定銘柄への助言、アドバイスを行う投資顧問業ではありません。資金を集めて資産の運用を行うものではありません。そのため特定銘柄の推奨・斡旋を当会に依頼される団体、法人、個人の方がおられますが、一切お断りしております。

個人投資家の方におかれましても、ご自身で現在保有されている株式への助言やご質問にはお答えできかねますことをご了承ください。

本レポートの著作権は、ファーストアドバンテージ株式会社及び日本株短期売買研究会に帰属します。当該情報の転用、複製、販売等の一切を固く禁じています。

株式売買は大きな損失をもたらす可能性があります。最終的な投資判断は必ずご自身にてお願い致します。

日本株短期売買研究会

PR////////(ここからは当会のPRです。短期売買に興味の無い方は読まないで下さい。)

もっと具体的に学び、そして勝組トレーダーになりたい！

もっと具体的にスイングトレードについて学び、そしてマーケットの上位10%の勝組トレーダーになりたい！
そんな積極的な成功するスイングトレーダーの資質をもっておられるあなた様へ。

当会主催のトレーディングセミナー開催時にお集まりいただいた会員の皆様からの「セミナーの講義内容をまとめた、トレーディングマニュアルが欲しい！！」という多数の声にお応えして、ついに「成功するスイングトレード 基本編」をリリースすることとなりました。

「成功するスイングトレード 基本編」では株式投資初心者のスイングトレード入門編として、株式用語、ローソク足、チャート、トレンド、移動平均線の一般理論とそれらの「部品」を組み合わせた投資手法「コンビネーションセットアップ」の実例、コンビネーションセットアップに基づくトレードシナリオの描き方についてまでも解説を行っています。

“成功するスイングトレード 基本編”(A4サイズ換算で全 131ページ)

ここで「成功するスイングトレード 基本編」の内容をちょっとご紹介！

スイングトレーダーとしての基礎知識とは？

株価の変動要因って何？

ローソク足五つの基本型。

ローソク足のコンビネーション！？

ローソク足のコンビネーション実例を見てみよう！

トレンドとトレードポイントが分かる！

トレンド転換の可能性、サポートとレジスタンス。

スイングトレーダーのためのチャートパターンはこれ！！

MAが伝えるメッセージとは？

グランビルの法則とゴールドクロスとデッドクロス。

コンビネーションセットアップとシナリオライティングを公開！！

コンビネーションセットアップとシナリオの実例を見よ！

トレードシナリオを描く五つのステップはこれだ！

ターゲットプライス??

短期トレードの基本はこれだけでOK！高額セミナーもスクールも、もう必要ありません。

詳しくお知りになりたい方は今すぐこちらへ

www.1advantage.info/cd.html



カラーデザインで分かりやすい！！
一目でパッと理解できる。

成功するスイングトレード

「成功するスイングトレード 実戦編」ではテクニカル分析、マネーマネジメント、リスクマネジメント、リスクとシワード比率、トレイリング、四季報の基本、相場全般を読む指標の解説とともにコンビネーションセットアップに基づく11種類の当会のオリジナルトレード手法を実例とともに公開しています。オリジナルトレード手法ではエントリーポイントだけでなく、ロスカットポイントやターゲット価格までも網羅して詳細にチャートを使用して説明しています。また実践に入る前に、練習を積んでいただくために**実践練習問題**も掲載されています。机上の空論から導き出された書籍やセミナーとは異なり、より実践的な生きた相場の参考書となっています。

実戦編は基本編と併せて活用することにより「ローソク足」「チャートパターン」「トレンド方向」「テクニカル指標」「出来高」「心理価格」というトレードの個々の「部品」を総合的に体系的に判断した精度の高いコンビネーションセットアップトレードが可能になり、トレーダーとしての能力アップが図れます。



“成功するスイングトレード 実戦編”

A4サイズ換算で全201ページ

- スイングトレード3つのフェイズって何？
- ターゲットプライスを出してみる カーフィッティングのワナ。
- 信頼のMACD ダイバージェンス=逆行現象って？！
- 勢いを測るディレクショナルシステム！
- テクニカルの基本RSI。 出来高で心理を読む！？
- オリジナルメソッドを一挙公開！ 陰線新値 RR比率
- リトレイメントトレードのチェックポイント
- 相場の天底発見器・騰落レシオ・評価損率・乖離率。
- 大数の法則と勝率の関係について学ぼう！
- マネーマネジメント、1トレードリスクはいくつ？
- トレイリングストップとリスクマネジメント 実践練習問題で腕を上げる！



図、チャート実例が豊富で基本の基礎～実践迄体系的に学びたいあなたにぴったりのマニュアル！

「成功するスイングトレード」の詳しい説明をご希望の方は今すぐこちらから

www.1advantage.info/cd.html

今なら特典・返品保証付きで
24時間受付中。お申し込みは簡単。

日々、届けられる短期トレーダー達の喜びの声！

実は当会には、毎日続々と喜びの声が届いています。ここでひと足先に「成功するスイングトレード」で学ばれた方のご紹介しましょう。語句は修正せず、原文やペンネームはそのまま載せています。

実際に頂戴いたしました皆さまの声とその原文はこちらで公開しています。 www.1advantage.info/thanks.html

当初は半信半疑だったCDも購入してよかったと心から思います。今まで買った銘柄が1円下がっただけでショックをうけて損切したりしていましたがチャートを見れるようになった今ではロスポイントもわかり数円の上げ下げで一喜一憂しなくなりました。酒井様のお教えどおりのTPを守ればかなりの利益が出ているのですが小心者なので画面を見てあがっていると1万円から2万円の利益で利益確定してしまっています。驚沢な悩みですが、これから心をきめてTPまで追っていけるようにしたいと思います。
千葉県の人 C h e e さん

世の中まがい物が多すぎますので、失礼ですが、駄目かなあと思いつつ本書を求めたしだいですが、しかし、内容を読んで行くうち、こんなに素晴らしいものがある（安価、分かり易く、論理的、実戦系で・・・）のかと、ただ～驚きと感激のいたりです。
三重県の人 H さん

私が日本株短期売買研究会に出会ったのは本当に偶然でした。ネットを閲覧していたままたまクリックしてしまったという感じでした。そして何気なく読み進めていくとどんどん引き込まれていきました。そして気づいてしまいました！「あ！！俺ってカモだ！！」私は自称デイトレーダーで「昨日コメンテーターがこの銘柄についていいこと言ってたから買ってみよう」「あの週刊誌で要チェックになってたから買ってみよう」くらいの気持ちでトレードしていました。当然私がつっこんだヘソクリはどんどん目減りしていき完全に株に対して冷めていた時期でした。そして運命の出会いが！！HPを隅から隅まで読ませていただき、すぐにCDを申し込みました。そして到着したCDをパソコンの中に入れてみると・・・もう、衝撃というか感動です。今まで何をしていたんだ？という感じでした。すぐにCDからA4用紙に印刷し、にらめっこの日々が続きました。しかも読んでいて楽しい！苦になる部分が全くない。
静岡県の人 K G さん

何度も読ませていただきましたが、基本編&実践編で、3~4万円はかなり安いと感じました。それだけの投資の知識がこの本にはつまっていると思います。自分自身の力でこれだけの知識を手に入れようとしたならば、数十倍のお金と時間を無駄にしていたと思うと、日本株短期売買研究会に出会えたことは、自分自身とても幸運だと感じました。
福岡県の人 Y さん

何か全く別世界を見るような感覚でしたが、なんとか読破しました。私としては、長い年月の中でのノウハウが凝縮されているのだなと実感し、これを右も左も分からぬ私が簡単に実践できることはなかなか難しかろうと思いつつも、トレードを実践することを決心しました。(中略)10月より実践し3ヶ月経過後の1月現在、50万円の資金が75万円とまさかの利益を捻出しております。

埼玉県のH・Mさん

貴会の「成功するスイングトレード基本編、実戦編」は、これほど自分が知りたい事柄を分かり易く解説されたものは見たことがありません。このように優れたものを個人でも入手しやすい価格で出された貴会に敬意を表し、感謝いたします。何となく不勉強は感じていましたが、何をどのようにしてどれだけ勉強すれば良いのかが分からなかったのです。学校の勉強でいうと「分からないところが分からない」の最悪の状態です。「成功するスイングトレード基本編、実戦編」を拝見したところ分からないところとその答えまでが書かれていたようです。2編とも、一気に読んでしまいました。

また、無償で戴いた「短期トレードを成功させる4つのポイント」にも自分が相場の餌食になっていた理由が書かれているので時折読み返し戒めにしています。貴会の今後一層のご発展をお祈り申し上げます。

東京都のお株堂さん

前略 これまでの私は・・・「とにかく、チャートを読めるようにしたい」というのが、私の願いで、私もいろんな本を読んでみました。でも、筆者によってそれぞれやり方も違うし、使うテクニカル指標も違うので、結局、何をどう見ればいいのか全く分かっていませんでした。それに、本の場合は、例として上がっているチャートも小さく白黒印刷なので、どれがどのラインなのかもよく分からず、結局何も習得できずじまい。「成功するスイングトレード」にも書いてありましたが、本ではテクニカル指標についてはその計算方法に関する説明が長すぎて、肝心の指標の使い方についてはほんのちょっとしか書かれてないものが多く、結局これもさっぱり分からずじまいでした。計算式を見たところで、私は理系やないんだからおもしろくも何ともないし、それが何を意味するのかすらよく分かりません。「成功するスイングトレード」では、実例による説明がほんとうにたくさんあって、それにカラー印刷なのでどれがどのラインなのかもはっきりと分かり、とても気に入ってます。やっぱりこうでないとね。ここまで実例中心に説明してくれる本は見たことないし、(行ったことはありませんが)トレード教室でもないでしょう。どなたかが書かれていましたが、「50万の価値がある」と私も思います。

和歌山県のK・Kさん

次はぜひあなたの喜びの声を聞かせてください!

* 皆さまから頂戴いたしましたお声と、その原文はこちらで公開しています。

www.1advantage.info/thanks.html

個人投資家のための日本株短期売買研究会

団体名 日本株短期売買研究会 社名ファーストアドバンテージ有限会社

所在地 〒949-0303 新潟県糸魚川市田海2886-1

www.1advantage.info e-mail info@1advantage.info

TEL 0255-62-2715 *お問い合わせを多数頂いておりますので、

ご質問等はメールにてお送り頂けますようお願い申し上げます。

代表者 酒井利夫 設立 2001年12月

事業内容

トレーディング・インストラクション事業

ITビジネスコンサルティング事業

IT講習事業

代表者略歴

1986年

立教大学 社会学部卒業

1986年

東京都港区 某中堅広告代理店入社

1998年

東京都江戸川区 ITスクール運営

MOT取得(リクルート社「仕事の教室」より取材を受ける)

2001年

インターネットトレードによる株式売買を実践する傍ら、

ITスクール受講生の「インターネットトレードに興味があるのですが、どうしたら先生のように儲けられますか?」という声に応え、個人投資家向け「パソコン初心者のためのインターネット・トレード」「パソコンでチャート分析」講座を開設。

講座受講生とともに「個人投資家のための日本株短期売買研究会」を発足。

2002年

田舎暮らしに憧れ、新潟に移住

三方を山に囲まれた田園地帯に妻と暮らす。

講演・セミナー

2001年12月

東京都江戸川区「パソコン初心者のためのインターネット・トレード」

「パソコンでチャート分析」

2002年01月

東京都江戸川区「パソコンでチャート分析」

2002年02月 千葉県船橋市「パソコンでチャート分析」他



代表が学んできた書籍

10万円あったら株で儲けなさい/明日香出版社、30勝1敗運を呼び込む田村式投資法/あつぷる出版、40歳からの1日10分間科学的株投資法/講談社、SP波動法/パンローリング、ウォーレン Buffett自分を信じるものが勝つ/ダイヤモンド社、オズの実践トレード日誌/パンローリング、お宝投資ソフト読本/パンローリング、会社四季報がスラスラ読める本/中経出版、買い時売り時株価チャートの読み方/明日香出版社、株・日本一の投資家のインターネット投資法/あつぷる出版社、株・利益確定93%・驚異の成田式投資法/あつぷる出版社、株価チャートがスラスラ読める本/中経出版、株で1億円作る/ダイヤモンド社、株で一億円儲けるならミラクル株を買いなさい/あつぷる出版社、株で大儲けした女性投資家たち/あつぷる出版社、株でゼロから30億円稼いだ私の投資法/エル出版、株で付き30万円稼ぎトレードで生活する田村式投資法/あつぷる出版、株で毎日が給料日/中経出版、株で儲けたい人の新聞の読み方/日本インタビュー新聞社、株投資信託外貨預金がわかる/講談社、兜町のカラクリ/三一書房、株のポイント/現代書林、金融のしくみ/日本文芸社、経済のニュースが面白いほど分かる本/中経出版、経済のニュースがよくわかる本/小学館、ゲイリスミス短期売買入門/パンローリング、ゴミ投資家のためのインターネット株式投資入門 デリバティブ/メディアワークス、ゴミ投資家のための株式トレード入門/メディアワークス、実践株式チャート入門/実業之日本社、ジャックシュワッガーのテクニカル分析/きんざい、凄腕外資の乗って株で儲ける大畑式投資法/あつぷる出版社、相場師一代/小学館文庫、立花式投資法ならどんな相場でも勝てる/あつぷる出版社、チャート分析の真実/ラジオたんぱ、チャートを読めば株は儲かる/イーストプレス、デイトレーダー/メディアワークス、デイトレード大学/パンローリング、定本酒田罫線法/同友社、デジタルデイトレーディング/ラジオたんぱ、投資の心理学/東洋経済新報社、日本型株式市場の構造変化/東洋経済新報社、ヒットエンドラン株式売買投資法/パンローリング、ビットブル/パンローリング、プロが教える株式投資/同友社、プロの逆張り投資法/同友社、ボリンジャーバンド入門/パンローリング、マーケットの魔術師株式編/パンローリング、マーケットプロファイル 市場心理を読んで相場に勝つ方法 /パンローリング、魔術師達の心理学/パンローリング、欲望と幻想の市場/東洋経済、ラリーウィリアムズの相場で儲ける日/日本経済新聞社、ロスフックトレーディング/パンローリング、ワイルダーのテクニカル分析入門/パンローリング、わかる経済のしくみ/ダイヤモンド社、私はこうして株で生活している/あつぷる出版社、一目均衡表の研究/投資レーダー、株・素人でも100万円が1億円驚異の3点チャージ投資法 /あつぷる出版、株100万円で月10万円儲けるDD投資法/あつぷる出版、株で資産5億円を作った佐々木式投資法/あつぷる出版、株のネット取引がわかる基礎の基礎講座 /講談社、株の動きはわかる/ダイヤモンド社、株はチャートでわかる/パンローリング、株をはじめのための本/ダイヤモンド社、株式投資勝利の方程式 この一冊で売り買いのタイミングが分かる /総合法令出版、株式投資日本一になった永澤式投資法/あつぷる出版社、株式投資連続日本一の藤原式投資法/あつぷる出版、株素人が株だけで生活する成田式絶対法則/あつぷる出版社、金利で経済が分かる/ダイヤモンド社、実践デイトレーディング 株取引、革命パイブル /ローカス、実践インターネット株式投資術 /日本実業出版社、生き残りのディーリング/パンローリング、絶対のパソコン投資術/同友館、相場の心理学 愚者は雷同し、賢者はチャートで勝負する /ダイヤモンド社、長谷川式投資法ならあなたも株で生活できる/あつぷる出版社、長谷川式投資法ならあなたも金持ち投資家になれる/あつぷる出版社、投資の常識/日本経済新聞社、投資苑/パンローリング、白と黒 実践デイトレーディング2 /ローカス、魔術師リンダ・ラリーの短期売買入門/パンローリング、魔術師達のトレーディングモデル/パンローリング、六十にして株を知る 年金生活者のためのトレーディング入門 /毎日新聞社、ネコでもわかる株入門の入門/中経出版、ピーター・リンチの株で勝つ新版アマの知恵でプロを出し抜け /ダイヤモンド社、株で毎日を優雅に暮らす法 私は毎月10%儲けている /中経出版、株儲かるテクニカル売買入門 最強の投資手法を身に付ける /明日香出版社、株式投資勝利の方程式 この一冊で売り買いのタイミングが分かる /総合法令出版、インターネットではじめる株式投資/自由国民社、株・素人でもデイ・トレードなら1日3万円儲かる /あつぷる出版社、株のポイント117 /現代書林

代表が学んできたスクール・セミナー

HISトレードスクール パンローリング短期売買実践セミナー

ひまわり証券webセミナー アカバIVESTトレード会員

DTS講習ライブ講習 東京証券取引所証券セミナー

kabu.com 逆指値セミナー DLJディレクトSFG証券MS勉強会

野村証券投資セミナー